



今年もよろしくお祝い申し上げます

理事長挨拶▶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、ぱれっと関係者の方々と共に、中期計画策定に貴重なお時間を頂きながら事業の方向性に向け充実した勉強会を開くことができました。ご協力ありがとうございました。総会の中では、一致団結した形でより具体性のある目標が掲げられました。

【私たちのビジョン】

「人間関係が希薄になりつつある地域の中で、誰もがつながり、新しい生き方を生み出せる拠点づくり」

このビジョンは、2年半に渡る勉強会を通して、ボランティアや理事・父母・スタッフ各々のかかわりや役割の中から、障がいのある彼らの支援を行なう上で、お互い共感し合いながら共通の課題解決策を見出しそれを文章化した言わば集大成です。

理事長職に就き3年目となる今年、いよいよ中期計画の具体化に向け動き出す年となります。ぱれっとも設立から32年、恵比寿地域を拠点に活動してきました。私自身も学生時代から数えると30年、えびす青年教室でボランティアを初めて経験し、障がいのある彼らと仲間として共に活動する基本理念を柱にぱれっとにかかわるようになり、年齢とともにその変遷を見届けてきました。「ぱれっとの強み」はやはり、多様な人がかかわり支えられながら社会を変えるべく、そのうねりを絶やすことなくモチベーションを維持してきたところだと自負しています。しかし、「弱み」はやはり経営面と言わざるを得ません。その脆弱な経営基盤を強化すべく大きな事業展開を中期計画では見据えています。

渋谷区も障害者保健福祉計画改定の年となります。つうしん紙面でのご報告の通り、いよいよ答申に向けた具体的な計画案が打ち出されます。グループホームの増設は渋谷区にとって最優先課題です。また、障がいの特性に合わせた多様な就労の受け皿も必要になってきています。行政と一体化を図り当事者と渋谷区のニーズを精査しながら、ぱれっとがどのように地域に貢献していくか、「誰もがつながり地域に根ざした拠点づくり」が実現できるよう努力していきます。

会員の方々をはじめ、多くの方からのご理解とご支援をいただきつつ、引き続き私たちの活動を見守っていただきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

認定 NPO 法人ぱれっと理事長 相馬宏昭





ぱれっと事務局 ▶

明けましておめでとうございます。事務局長となって、早いもので2年が経とうとしています。業務にも慣れ、外部団体とのネットワークも少しずつ作られてきました。特に地元渋谷区内の団体との連携は、これからのぱれっとの展開を考える上で大変重要なものと位置付けています。障がい者福祉が遅れていると言われる渋谷区ですが、自立支援協議会や福祉計画策定の動きの中で、少しずつ改善してきているように思います。ぱれっとが地域社会の中で果たすべき役割は何か?を常に考えつつ、今年も邁進していきたいと思います。地元のつながり以外の部分でも、分野を問わず連携を図り、組織を発展させる事業体と社会を変える運動体の二つの側面を力を発揮していきたいと考えています。今年はさらに精力的に色々なところへ出かけたいと思います。よろしく願いいたします。(事務局長 南山達郎)

たまり場ぱれっと ▶

明けましておめでとうございます。昨年は、地域との繋がり作りを意識したイベント「まもりんピック渋谷」を開催しました。これにより、新たなネットワークが出来た一方で、地域との繋がり作りにおける課題も見えてきました。今年ぱれっとにとって、中期計画に向けての挑戦の年です。福祉を取り巻く社会情勢は依然、大変厳しい状況ですが、これからも社会にチャレンジし続けていくぱれっとに対して、たまり場が元気と活力を与えられるよう、今年も取り組んで参ります。そして、これまでと変わらず多くの人にとって居場所であるたまり場の良さを守りつつ、新しいことにもチャレンジしていく基盤を整えます。関わる人達皆が笑顔で楽しく自分の可能性を広げ、自己実現していかれる居場所となるよう取り組んで参りますので、本年もご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。(職員 左右木 歩)

おかし屋ぱれっと ▶

明けましておめでとうございます。昨年は皆様のご支援、ご協力のもと工房ぱれっと、おかし屋ぱれっとともに充実した多忙な毎日を送ることができました。工房ぱれっとは2年目となり仕事も安定してきました。自主製品をより多くの人に知ってもらう為、イベントに出店するなど商品の宣伝に力を入れてきました。そしておかし屋ぱれっともまた、地域や新しい場所での販売に積極的に参加しました。新しいメンバーが増えたことで一人ひとりの仕事への意識にも変化があり活気が生まれました。さらに、新たなお客様や作業ボランティアさんなど素敵な出会いに恵まれた一年でもありました。おかし屋ぱれっとは今年で30周年を迎えます。本年度もおかし屋ぱれっとを支えて下さる皆様へ感謝の気持ちを忘れず、より一層仕事に励んで参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。(所長 長澤美佳)

えびす・ぱれっとホーム▶

明けましておめでとうございます。昨年は6名の入居者が、様々なチャレンジをした年でした。パソコン教室に通い始めた人、そのパソコンで参加申込みを始めた人、ヘルパーと一緒に出かけした人、休日にヘルパーとランチやカラオケの楽しみを見つけた人、新たな作業所での実習、自分の力で部屋掃除など。小さな一歩ですが、彼らに寄り添う人たちの力を借りながら自立生活を送っています。

2012年10月に障害者虐待防止法が施行されて以来、福祉施設等を対象にした研修や講義が開催されています。少しずつ実態も明らかになり、表に出てこなかった現状に対して声をあげる人達が増えてきたとも言えます。虐待を防ぐ鍵となるのは、お互いを尊重し、応援し、感謝を伝えあう関係づくり。個々の生活スタイルを大切に暮らしの場を広げられるよう、今年も挑戦が続きます。(施設長 菅原睦子)

ぱれっとインターナショナル・ジャパン▶

明けましておめでとうございます。新しいぱれっとを目指して2年目の2015年を迎え、国際交流活動も国を超えたつながりを深めるべく、その準備に入りました。これからのぱれっとの国際支援のあり方を進めるためにも、今年にはぱれっとのスタッフやメンバーが学ぶ機会を持ちたいと考えました。

一つ目は、1月10日から一週間、スタッフ3名の研修旅行を実施します。長年交流のあるマレーシアのペナン州とサラワク州で活動している団体を訪問します。二つ目は、隔年開かれているアジア知的障害会議が10月3日から5日間スリランカで開催されます。その会議で、障がい者が発表する分科会に今回もぱれっとのメンバーが応募します。参加国の仲間との情報交換が期待できることでしょう。それぞれの体験は「ぱれっとつうしん」で報告いたしますのでお楽しみに。(代表 谷口奈保子)

ぱれっとの家 いこっと▶

明けましておめでとうございます。いこっとがスタートして、5年目となります。これまでは入れ替わりの多い「いこっと」でしたが、昨年は少なく穏やかな暮らしが続きました。入居当初は、期待と不安で些細なことで相談に来ていた人が、1年過ぎると回数が減り、余裕が生まれてきます。互いを信頼しあうことは簡単ではありませんが、日々交わす言葉や体験を通して理解しあうのだと、彼らから学びます。

昨年末、研修先で「新聞記事を取ってあるんです。ぜひ見学に伺いたい」という方と隣り合わせました。クリスマスイブには、国土交通省の「安心居住政策研究会」より依頼があり、事例として紹介しました。障がいのある方が共に地域で自立して暮らすためには、地域で支える様々な仕組みと協力者、資金の確保が必要です。暮らしの選択肢が広がるきっかけになることを願ってやみません。(職員 菅原睦子)